

第九十回帝國議會 衆議院 生活保護法案委員會會議錄(速記)第十三回

付託議案

生活保護法案(政府提出)

昭和二十一年八月十五日(木曜日) 午前十時四十五分開議

出席委員

委員長 庄司 一郎君

理事 小柳富太郎君 理事齊藤 行藏君 理事有馬 英二君 理事長谷川 保君

委員

今井 はつ君 山口 好一君 大島 定吉君 坪川 信三君 山下 春江君 原 捨思君 菅原 エン君 山崎 道子君 川越 博君 平川 篤雄君 木村 チヨ君 松谷天光君 同日委員田中たつ君辭任ニ付其ノ補闕トシテ木村チヨ君ヲ議長ニ於テ選定シテ

出席政府委員

厚生政務次官 服部 岩吉君 厚生事務官 葛西 嘉資君 厚生事務官 加藤 精一君

本日ノ會議ニ付シテ議案

生活保護法案(政府提出)

○庄司委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス、大藏大臣ハ只今貴族院ニ居ラレ、豫算總會ノ方モゴザイマスノデ、ドウシテモ遺憾千萬デゴザイマスガ見エラレマセヌ、甚ダ遺憾ノ意ヲ表スル次第デゴザイマスルガ、餘儀ナイコトデゴザ

イマス、御諒解ヲ御願ヒ申上ゲマシテ、是ヨリ討論竝ニ採決ニ入りマス、其ノ前ニ委員各位ノ御諒解ヲ戴ケマスナラバ、昨日各黨各派ヨリ頂戴ヲ致シマシタ附帶決議ノ希望事項ヲ昨夕理事各位竝ニ各派ノ總代ノ方々ト御審議ノ上、二十

五、六ゴザイマシタ御希望事項ヲ六項目ニ壓縮綜合整備サセテ戴イタノデアリマス、若シ委員各位ノ御許シガゴザイマスナラバ、委員長ニ於テ一應茲ニ御報告旁々朗讀サセテ戴キマシテ附帶決議ノ第一項ヨリ第七項マデ改メテ御賛成ヲ戴キタイト思フノデゴザイマス、如何デゴザイマセウカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○庄司委員長 滿場ノ御賛成ヲ戴キマシタ

附帶決議

一、民生委員ノ國家待遇ヲ厚クシ、其ノ手當ヲ相當額ニ増額スベシ、尙ホ其ノ任期ハ二箇年トスベシ

二、民生對策上、中央、地方ニ效果ナル委員會ヲ設ケ、本法運營上ノ萬全ヲ期セラレタシ

三、民生委員ノ選衡方法ヲ努メテ民主化シ、町内會長、部落會長、引揚同胞總代、社會事業關係者、要保護者中ヨリモ

選拔セラレタシ

四、都道府縣ノ民生委員ノ選衡委員會ニハ多分ニ地方議員ヲ參加セシメラレタシ

五、本法ヲ中心ニ社會事業法、司法保護事業法等ノ調整ヲ圖ラレ、且ツ國民保險組合ノ改善、失業保險ノ創設等ニ邁進スベシ

六、生業扶助一人當リノ扶助額ヲ増額スルト共ニ、造營物施設ニ付テモ相當増額セラレタシ

七、國立病院、結核療養所等ノ收容者等ニ對シテモ本法ニ依ル生活保護ノ愛ノ手ヲ伸ベラレタシ

以上ノ七項目ヲ附帶決議ニ付ケタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ他只今ノ分ニ包容サレテ居リマセヌ部分ハ、委員長本會議ニ於ケル報告書中ニ努メテ委員各位ノ御熱心ナル希望事項ヲ盛り上ゲマシテ、政府ニ強ク要請スル方針デゴザイマス、其ノ點正シク良心ノ努力シタイト考ヘテ居リマス

ノデ、委員長ニ對シテ御信頼ヲ戴キタウゴザイマス、以上ノ通りデゴザイマスガ、附帶決議ノ方ハ此ノ程度デ宜シウゴザイマセウカ

○庄司委員長 滿場御異議ハゴザ

イマセヌ、附帶決議ノ點ハ皆様ノ御贊同ヲ戴キマシタ、是ヨリ生活保護法案ヲ議題トシ討論ニ付シマス、討論ハ逐次之ヲ許シマス

小柳富太郎君

○小柳委員 昨日本自由黨ヲ代表致シマシテ、本法案ニ對スル態度ヲ表明致シマス、本法案ニ對シテハ是マデ十餘回ニ亙ル審議ヲ重ねラレ、今日マデニ於ケル質問應答ニ依ツテ政府ガ本案ヲ制定サレタ趣旨ト其ノ精神ヲ大體了承シ得タノデアリマス、我が自由黨ノ今日マデ政府ニ於テ示サレタ趣旨精神ガ其ノ運營面ニ遺憾ナク發揮サレルヤウ希望スル意味ニ於キマシテ、只今委員長ヨリ附帶決議ノ御發表ガアリマシタガ、更ニ之ヲ具體的ニ申述ベマシテ、本案ニ賛成セントスルモノデアリマス

其ノ一、本法ヲシテ現實ニ即シ效果アラシメ運用ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、左ノ推進機關ヲ設ケルコト、一、民生對策中央委員會、國民議員、社會事業其ノ他ノ團體代表二十名内外ヲ以テ構成、二、民生對策地方委員會、地方議會、區及ビ郡市民生委員會代表、引揚者其ノ他適當ノ團體ノ代表等二十名内外ヲ以テ構成、前二項ノ委員會ノ機能其ノ他ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム、以上ノ規定ニ基イテ本

法ノ效果ナル運營ヲ圖ラレタイトスルモノデアリマス、厚生大臣ノ答辯ノ中ニ、中央ニ於テ中央社會事業委員會ヲ活用スル旨ノ御表明ガアリマシタガ、我が黨ガ此ノ委員會設置ヲ條件ト致シマスル趣旨ハ、即チ本法案ガ單ニ救貧ノ保護事業ト云フヨリモ、失業救済的ナ生業助成ノ積極的ナ推進ヲナスベキ性格ノ發揚ニ依リ、今後政府ニ於テ計畫サレルベキ失業對策トノ關聯ヲ必然ナラシメル意味ニ於テ、多分ニ政治的ナ運營ヲ必要トスルカラデアリマス、即チ生活保護ハ飽クマデ最後ノ一線ニ止メルベキ性質ヲ持チ、一面暫定的ノ生活扶助ハ次ノ段階トシテ生業助成ニ切替ヘ、更ニ生産企業ノ助成指導ニ突キ進ムコトガ、日本ノ再建ト國民福祉ヲ圖ル要諦デナケレバナラナイ、以上地方中央ヲ通ジテ是等ノ處置ニ付テ綜合的計畫性ヲ持ツタ運營ヲ要請サレマスルガ故ニ、強力ナ政治力ヲ有スル所ノ委員會制度ヲ必要トスルノデアリマス

其ノ二、失業扶助ニ對スル總豫算ヲ増額シ、一人當リ扶助額モ相當額引上ゲルコトデアリマス、政府ハ生業扶助ニ對スル見込總額ヲ本年度ニ於テ僅カニ四千五百萬圓ト發表セラレマシタガ、左様ナコ

トゾハ國民ノ生業意欲ヲ抑制スルニ等シイノデアリマシテ、生業助成ノ指導宜シキヲ得タラバ、一面生活扶助ノ國家負擔ヲ輕減シ、國民生活安定ヲ促進スルモノデアリマシテ、ソレコソ國家國民ノ希求シテ已マザル所デアリ、政府ハ是ガ爲ニモ地方委員會ノ活動ニ適當ナ彈力性ヲ與ヘテ、大イニ國民ノ勞働意欲、就業意欲ヲ振起セシメルコトニ努ムベキダト考ヘマス

其ノ三、厚生當局ハ大藏省ト折衝シ、本法ニ關スル施設費ヲ相當額増加ノ件ニ付承認セシメル爲ニ努力シテ戴キタイノデアリマス

其ノ四、民生委員手當ヲ相當額引上ゲルコト、民生委員令ニ依ル民生委員ノ任期ヲ二年トスル

以上ノ五項目ニ互ル決議ニ對シテ政府ハ其ノ實現ヲ期セラルベキコトヲ要望致シマシテ、本案ニ贊成ヲ致シマス

○庄司委員長 有馬英二君 ○有馬委員 我方黨ト致マシシテハ、本法ノ總精神ヲ重シテ各條項ニ付キマシテハ、色々詳細ナ點ニ付キマシテ多少ノ異論ハナイデモアリマセヌケレドモ、大體ニ於テ之ヲ修正スルコトナク承認シテイ考ヘテ持ツテ居リマスガ、只今委員長カラ御發表ニナリマシタ所ノ此ノ七箇ノ附帶條件ニ付キマシテハ、大體ニ於テ之ニ贊成致シマシテ、尙ホ此ノ際ノ附帶條件ヲ今後十分ニ發揮サレルコトヲ希望致

シマシテ贊成スルコトニ致シマス ○長谷川委員 長谷川保君 本法案ハ三十億圓ノ國庫補助、五億圓ノ地方分與金、計三十五億圓ノ巨費ヲ投ジ生活ニ困難スル同胞八百萬人ノ生活ヲ維持セントスルモノデアリマシテ、從來ノ此ノ種立法タル救護法、母子保護法等ニ比較シテ格段ノ進歩シタモノデアアルコトハ之ヲ認ムルニ各カデアリマセヌ、此ノ點厚生當局ノ勞ヲ多トスルモノデアリマス、併シナガラ之ヲ仔細ニ點檢シテ、重要ナル點ニ於テ最少限度一箇所ノ修正ヲ要スルと思フノデアリマス

別的是又ハ優先的取扱をなすことなく平等に保護して、社會の福祉を増進することを目的とする。ト云フノデアリマスガ、我方黨ハ「平等に保護して」ノ次ニ「その最低生活を保障し」ノ字句ヲ挿入セシコトヲ提案スルモノデアリマス、河合厚生大臣ハ本委員會ニ於テ、本法ハ國民健康保險或ハ六十億圓ヲ以テスル失業救済公共事業等ニ於テ尙ホ救ヒ得ザル人々ヲ救フノデアリ旨ヲ説明セラレテ居リマス、果シテ然ラバ此ノ法律ハ保護セラレネバ生キテ行ケナイ國民ノ生存ヲ守ル最後ノ法律デアルト言ハネバナリマセヌ、今後尙ホ幾多ノ社會立法ガ作ラレルデアリマセウガ、而モソレ等幾多ノ社會立法ニ依ツテノ救ヒニ漏ル、國民ヲ最後ニ救フ網ハ、又實ニ本法デアリデアリマス、即チ本法案コソハ國民ノ最後ノ生存權ヲ守ル法律ト言ハネバナリナイノデス

○庄司委員長 有馬英二君 ○有馬委員 我方黨ト致マシシテハ、本法ノ總精神ヲ重シテ各條項ニ付キマシテハ、色々詳細ナ點ニ付キマシテ多少ノ異論ハナイデモアリマセヌケレドモ、大體ニ於テ之ヲ修正スルコトナク承認シテイ考ヘテ持ツテ居リマスガ、只今委員長カラ御發表ニナリマシタ所ノ此ノ七箇ノ附帶條件ニ付キマシテハ、大體ニ於テ之ニ贊成致シマシテ、尙ホ此ノ際ノ附帶條件ヲ今後十分ニ發揮サレルコトヲ希望致

今ヤ慘憺タル敗戦ノ結果、杖トモ柱トモ頼ム一人息子ヲ失ヒ、戦死ノ報ヲ受ケツ、モ、諦メ兼ネテ日毎南ノ空ヲ想フ絶望ノ老人遠、再ビ生キテハ還ラズト教ヘラレツツモ、夜毎ニ雨戸ヲ叩ク風ノ音ニ、若シヤト父ノ歸リ、夫ノ歸リヲ戀ヒ慕ウテ枕ヲ濡ラス寄ル邊ナキ孤兒ヤ其ノ母遠、戦災ニ家モ財産モ一切ヲ失ウテ路頭ニ迷フ人、手足ヲ失ヒ、目ヲ失ヒ、生レモ付カヌ不具者トナツタ病ミ傷ツ

ケル人々、乞食ノ如ク垢塗レニナツテ、無一物テ海外カラ歸ツテ來ル人々、彼等ハ今「インフレ」ノ重壓ノ下ニ貯ヘモ使ヒ果シテ、行ク先キテ如何ニセシカ、今日ノ糊口ヲ如何ニシテ過サンカト悲シミ憂ヒ披イテ居ルノデス、更ニ今ヤ軍需補償ノ全面的打切り其ノ他今後不可避免ニ續イテ打タルベキ我が國財政經濟ノ根本的建直シノ大手術ノ結果出ルベキ五百萬人ノ失業者等、今ヤ凡ニ手ヲ盡スモ尙ホ生存ノ最後ノ線ニ迫ダマル、者八百萬人ヲ豫想セザラザ得ナイト云フノデアリマス、是等ノ氣ノ毒ナル人々ガ自ラノ責任ニ於テ此ノ不幸ナル境遇ニ落チタモノデアリコトハ言フマデモアリマセヌ、是等ノ人々ハ戰爭ノ犠牲者デアリマス、國策ノ犠牲者デアリマス、隨テ是等ノ人々ノ最後ノ生存權ヲ保障スルコトハ國家ノ責任デアリマス、本委員會ニ於テ、國民ノ最低生活ヲ絕對ニ保障スルカトノ質問ニ對シテ厚生大臣ハ、絕對ニ保障スルコト云フ譯ニハ行カヌト答ヘラレ、ソレデハ或ル程度保護シテ、後ハ見殺シニスルノカトノ重ネテノ質問ニ、イヤ見殺シニスルト云フノデアリナイ、出來ルダケカテ盡シテ保護スルコト答ヘラレテ居マシテ併シナガラ事ハ生死ノ關頭ニ關スル問題デアリマス、「イエス」カ「ノー」カ、明確ニ答ヘラレナケレバナリマセヌ、八百萬人ノ要

保護者ハ生死ノ關頭ニ立ツテ、生活保護法ハ自分達ヲ生カサシメルノカ、ソレトモ或ル程度ノ援助ノ後ハ見捨テルノカト必死ニ問ヒ詰メテ居ルノデス、是等ノ人々ニ取ツテ曖昧ハ許サレマセヌ、生カ死カ、其ノ中間ハ事實ニハナイノデス、新憲法ニ於テ人間ノ基本的人權ヲ尊重シ、之ヲ保障スルコト云フ、併シナガラ生存ヲ保障セズシテ何ノ基本人權ノ尊重ゾヤデアリマス、生存即チ國民ノ最低生活ノ保障コソハ民主國家最大ノ目的デアケレバナリマセヌ、曩ニモ申シマシタ如ク、他ノ法律デ救フモ尙ホ救ヒニ漏レル同胞八百萬人ヲ本法デ救フト云フノデアリマス、此ノ法律デ最低生活ノ保障ヲセシシテ、一體何處ニ基本人權ノ具體的又根本的保障ヲナサントスルノデアリマスカ、本法ニ最低生活ノ保障ヲ書クノハ當然デアアリマセヌカ、問ク所ニ依レバ、關係方面ニ於テモ、本法ハ慈善的又ハ恩惠的ナモノデアツテハナラヌ所要ノ經費ニ付テハ「リミット」ヲ設ケテハナラヌトノ御指示ガアツタトノコトデアリマス、然リ國家ハ國民ノ最低生活ヲ保障スル責任ガアリマス、國家ガ國民ノ生存ヲ保障シ得ズ、政府ガ國民ノ最低生活ヲ守リ得ズシテ、國民ガ餓死スルトスルナラバ、國家ニ何ノ權威ガアリマセウ、政府ハナイニ等シイノ

ケル人々、乞食ノ如ク垢塗レニナツテ、無一物テ海外カラ歸ツテ來ル人々、彼等ハ今「インフレ」ノ重壓ノ下ニ貯ヘモ使ヒ果シテ、行ク先キテ如何ニセシカ、今日ノ糊口ヲ如何ニシテ過サンカト悲シミ憂ヒ披イテ居ルノデス、更ニ今ヤ軍需補償ノ全面的打切り其ノ他今後不可避免ニ續イテ打タルベキ我が國財政經濟ノ根本的建直シノ大手術ノ結果出ルベキ五百萬人ノ失業者等、今ヤ凡ニ手ヲ盡スモ尙ホ生存ノ最後ノ線ニ迫ダマル、者八百萬人ヲ豫想セザラザ得ナイト云フノデアリマス、是等ノ氣ノ毒ナル人々ガ自ラノ責任ニ於テ此ノ不幸ナル境遇ニ落チタモノデアリコトハ言フマデモアリマセヌ、是等ノ人々ハ戰爭ノ犠牲者デアリマス、國策ノ犠牲者デアリマス、隨テ是等ノ人々ノ最後ノ生存權ヲ保障スルコトハ國家ノ責任デアリマス、本委員會ニ於テ、國民ノ最低生活ヲ絕對ニ保障スルカトノ質問ニ對シテ厚生大臣ハ、絕對ニ保障スルコト云フ譯ニハ行カヌト答ヘラレ、ソレデハ或ル程度保護シテ、後ハ見殺シニスルノカトノ重ネテノ質問ニ、イヤ見殺シニスルト云フノデアリナイ、出來ルダケカテ盡シテ併シナガラ事ハ生死ノ關頭ニ關スル問題デアリマス、「イエス」カ「ノー」カ、明確ニ答ヘラレナケレバナリマセヌ、八百萬人ノ要

保護者ハ生死ノ關頭ニ立ツテ、生活保護法ハ自分達ヲ生カサシメルノカ、ソレトモ或ル程度ノ援助ノ後ハ見捨テルノカト必死ニ問ヒ詰メテ居ルノデス、是等ノ人々ニ取ツテ曖昧ハ許サレマセヌ、生カ死カ、其ノ中間ハ事實ニハナイノデス、新憲法ニ於テ人間ノ基本的人權ヲ尊重シ、之ヲ保障スルコト云フ、併シナガラ生存ヲ保障セズシテ何ノ基本人權ノ尊重ゾヤデアリマス、生存即チ國民ノ最低生活ノ保障コソハ民主國家最大ノ目的デアケレバナリマセヌ、曩ニモ申シマシタ如ク、他ノ法律デ救フモ尙ホ救ヒニ漏レル同胞八百萬人ヲ本法デ救フト云フノデアリマス、此ノ法律デ最低生活ノ保障ヲセシシテ、一體何處ニ基本人權ノ具體的又根本的保障ヲナサントスルノデアリマスカ、本法ニ最低生活ノ保障ヲ書クノハ當然デアアリマセヌカ、問ク所ニ依レバ、關係方面ニ於テモ、本法ハ慈善的又ハ恩惠的ナモノデアツテハナラヌ所要ノ經費ニ付テハ「リミット」ヲ設ケテハナラヌトノ御指示ガアツタトノコトデアリマス、然リ國家ハ國民ノ最低生活ヲ保障スル責任ガアリマス、國家ガ國民ノ生存ヲ保障シ得ズ、政府ガ國民ノ最低生活ヲ守リ得ズシテ、國民ガ餓死スルトスルナラバ、國家ニ何ノ權威ガアリマセウ、政府ハナイニ等シイノ

保護者ハ生死ノ關頭ニ立ツテ、生活保護法ハ自分達ヲ生カサシメルノカ、ソレトモ或ル程度ノ援助ノ後ハ見捨テルノカト必死ニ問ヒ詰メテ居ルノデス、是等ノ人々ニ取ツテ曖昧ハ許サレマセヌ、生カ死カ、其ノ中間ハ事實ニハナイノデス、新憲法ニ於テ人間ノ基本的人權ヲ尊重シ、之ヲ保障スルコト云フ、併シナガラ生存ヲ保障セズシテ何ノ基本人權ノ尊重ゾヤデアリマス、生存即チ國民ノ最低生活ノ保障コソハ民主國家最大ノ目的デアケレバナリマセヌ、曩ニモ申シマシタ如ク、他ノ法律デ救フモ尙ホ救ヒニ漏レル同胞八百萬人ヲ本法デ救フト云フノデアリマス、此ノ法律デ最低生活ノ保障ヲセシシテ、一體何處ニ基本人權ノ具體的又根本的保障ヲナサントスルノデアリマスカ、本法ニ最低生活ノ保障ヲ書クノハ當然デアアリマセヌカ、問ク所ニ依レバ、關係方面ニ於テモ、本法ハ慈善的又ハ恩惠的ナモノデアツテハナラヌ所要ノ經費ニ付テハ「リミット」ヲ設ケテハナラヌトノ御指示ガアツタトノコトデアリマス、然リ國家ハ國民ノ最低生活ヲ保障スル責任ガアリマス、國家ガ國民ノ生存ヲ保障シ得ズ、政府ガ國民ノ最低生活ヲ守リ得ズシテ、國民ガ餓死スルトスルナラバ、國家ニ何ノ權威ガアリマセウ、政府ハナイニ等シイノ

デ、此ノ故ニ國家ガ國民ノ最低生活ヲ保障スルノハ當然デアリ、更ニ進シテ是等餓死線上ニアル人々ノ生活ヲ絶エズ向上サセルコトヲ努力シナケレバナリマセヌ、今後ノ激シカルベキ勞働爭議ニ於ケル勤勞者ノ要求ハ、窮極スル所又此ノ最低生活ノ保障ヲ要求スル悲痛ナル血ノ叫ビデアリマス、而モ大イナル悲劇ハ、多クノ企業自體ガ今ヤ採算割レニ立至ツテ居ル現實デアリマス、是レ故ニ國家ガ本法ニ於テ國民ノ最低生活ヲ保障シ、國民ヲシテ最悪ノ場合ニ於ケル保障ヲ、得セシメ安シテ國家再建ノ爲ニ後顧ノ憂ナク全力ヲ盡シテ凡ユル方途ヲ策セシムルハ又喫緊ノコトデアリマス、國民ノ最低生活ハ斷乎保障サレナケレバナリマセヌ、最モ微力ナル國民ノ生活ガ安全ニ確保セラレテ、ソコニ初メテ眞ノ民主國家ガアルノデス、此ノ理由ヲ以テ我が社會黨ハ第一條ヲ「この法律は、生活の保護を要する状態にある者の生活を、國が差別的又は優先的な取扱をなすこととなく平等に保護して、その最低生活を保障し社會の福祉を増進することを目的とする。」ト修正セラレンコトヲ提案スルモノデアリマス

○庄司委員長 川越博君
○川越委員 私ハ只今議題トナツテ居リマスル生活保護法案ニ對シテ協同民主黨ヲ代表致シマシテ贊

意ヲ表スルモノデアリマス、以下簡略ニ申上ゲマス
民生委員令ニ依リマス所ノ民生委員ノ任期ハ、原案ニ依リマスト三年ト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、是ハ長キニ失スルカラ二年ニ致シタイノデアリマス、尙ホ民生委員ノ處遇ニ關シマシテハ相當額ヲ引上ゲル、即チ現在ノ見込デハ二年二百圓デアリマスルガ、之ヲ五百圓程度ニ引上ゲテ貫ヒタイコトヲ希望スルモノデアリマス、此ノ點ハ委員長ガ附帶決議ノ中ニ既ニ織込マレテ居ラレルヤウデゴザイマスカラ、ドウカ此ノ點ヲ當局ニ於テモ篤ト御考慮ノ程ヲ切望スルモノデアリマス
ソレカラ本法案ト社會事業法トノ關係デアリマスケレドモ、社會事業法ト云フモノハ今日ノ生活保護法ヲ豫想シテ出來テ居ルモノデハナクシテ、其ノ間兩法ノ間ニハ重複ノ點ガ多クゴザイマスルカラ、政府ニ於キマシテハ社會事業法ニ對シ、本法トノ關聯ニ於テ根本的ナ改革ヲ講ゼラレ、次期ノ議會ナリ、成ベク速カニ之ヲ提出サレンコトヲ希望スルモノデアリマス
ソレカラ本法ノ運用ノ重大性ニ鑑ミマシテ、政府ハ民生委員ノ銜ト云フコトニ付テハ、格段ノ注意ヲ拂ツテ戴キタイノデアリマス、民生委員ノ銜ニ付キマシテハ、ドウシテモ保護ヲ受ケル所ノ

者ノ代表者、サウ云フモノモ是非トモ織込ミ、ソレヲ參加セシムルヤウニシテ戴キタイノデアリマス、例ヘバ戰災者デアルトカ、或ハ引揚者デアルトカ、或ハ又遺家族、復員者、斯ウ云ツタ所ノ保護ヲ受ケルヤウナ状態ノ立場ニアル所ノ人々ヨリ此ノ代表ト云フモノヲ——必ズ入ルモノトハ思ヒマスケレドモ、其ノ點ニ手抜カリノナイヤウニ、本法ノ重大使命ヲ扼スル所ノ此ノ委員ノ銜ニハ注意ヲサレテ戴キタイ、ソレト同時ニ本法ノ運用ト云フコトガ實際ハ民生委員ノ活動如何ニアリマス、併シナガラ現行ノ方面委員制度ニ依リマス、或ル箇所ニ於テハ非常ニ活動ガ活潑デアルケレドモ、或ル箇所ニ於テハ殆ド振ハナイ、非常ニ斑ガアルト云フヤウナ狀況デアリマスカラ、名譽職ガアル所ノ今度ノ民生委員ニ對シテ查察制度ヲ設ケルト云フコトハ如何カト存ジマスケレドモ、此ノ活動促進ニ關シテ適當ナル所ノ考慮ヲ拂ヒ、萬遺憾ナキヲ期シテ戴キタイ、此ノコトヲ切望スルモノデアリマス

次ニハ現在ノ國民健康保險制度、之ニ付キマシテハ地方ニ於テ種々ナル異議ガアルノデアリマス、本法ノ立法ノ精神ト云フモノハ非常ニ歪曲サレテ居ルノデアリマス、此ノ國民健康保險ト云フモノヲ地域的ニ職域的ニ立法化シテ賈ヒタイトカ、或ハ國家補償金ノ

増額、サウ云ツタヤウナコトガ要望サレテ居リマスケレドモ、此ノ國民健康保險制度ニ付テモ、或ハ今後當然考慮サルベキ所ノ失業保險制度ニ付テモ、政府ハ社會保險ト云フコトデアリマスケレドモ、單ナル審議ニアラズシテ、ドウカ是ガ社會政策全般トシテ、先程社會黨ノ長谷川委員ガ熱烈ニ最低生活ノ保障ト云フコトニ向ツテ意見ヲ述べラレマシタケレドモ、此ノヤウナ社會保險、社會立法、サウ云ツタモノニ付テ綜合的ニ社會政策ヲ行ツテ、サウシテ國民ノ最低生活保障ニ向ツテ政府ハ邁進ヲサレテ戴キタイノデアリマス、當然ニ失業對策ノ事業、サウ云ツタヤウナ全般ノ政府ノ施策ニモ依リマスケレドモ、本法ヲ中心ト致シマシテ、國民ノ最低生活ノ保障ニ向ツテ政府ハ勇往前進サレンコトヲ希望スルモノデアリマス

協同民主黨ニ於キマシテハ、本法ノ第一條ニ於テ社會黨ガ先程述べラレタ所ノ最低生活保障云々ノ問題ニ付キマシテハ、非常ナル所ノ贊成ノ意見モアリ、或ハ本法ダケニ依ツテ挿入出來ナイカラト云フ色々ノ議論モアリマシタケレドモ、協同民主黨ト致シマシテハ、原案ノ修正ハ致シマセヌケレドモ、其ノ精神ニ於テ、政府ハハツキリト——昨日ノ此ノ委員會ニ於キマシテモ、吉田總理大臣ハ、國

民ノ最低生活保護ニハ特ニ意ヲ用ヒテ居ルト云フコトヲ申サレテ居リマスルケレドモ、其ノ言葉ト云フモノヲ單ナル言葉デハナクシテ、實際ニ於テ實行サレンコトヲ要望スルモノデアリマス

ソレカラ國立病院結核療養所ノ收容者ナドノ生活保護ニ關シマシテハ、直接的ニ本法ノ適用ヲ受ケナイコトニナツテ居リマスルケレドモ、此ノ患者ノ生活保護ニ關シテモ愛護ノ手ヲ差伸ベテ戴キタイノデアリマス
ソレカラ生業扶助ノ増額ノ件ニ關シマシテ、自由黨ノ代表カラモ述べラレマシタケレドモ、此ノ増額ヲヤツテ戴キタイコトヲ希望スルノデアリマス、今日復員軍人デアルトカ、或ハ引揚者デアルトカ、サウ云ツタ人々ノ生活ハ闇ヲヤラネバ生活ガ出來ナイヤウナ狀況デアリマス、闇ヲヤラナケレバ生活ハ出來ナイ、即チ生活ノ爲ニ闇ヲヤルノデアリマスルカラシテ、斯ウ云ツタ人々ハ困窮ノ状態ニ陥ツテ居ル、或ハ陥ラントシテ居ル、斯ウ云フ時ニ當リマシテ、速カニ此ノ生業扶助ト云フコトニ又重點ヲ置イテ、此ノ豫算ヲ増額ラシテ戴キタイ、サウ云フコトヲ希望スルノデアリマス、之ヲ要シマスルノニ、本法ト云フモノハ實際ノ運用ガ大切デアリマスルカラ、此ノ委員會ニ於テ政府當局並ニ我々委員ノ間ニ質疑應答ガアリ

マシク所ノ精神ガ實際ノ運用ニ於テ遺憾ナク適用サレルヤウニ、此ノ點政府ハ格段ノ注意ヲシテ戴キタイ、此ノコトヲ委員長ハ附帶決議ニ織リ込マレ、或ハ附帶決議ノ中ニ織リ込マレナイ點ハ、委員長ノ報告ニ於テ參酌サレンコトヲ念願致シマシテ、本員ハ本案ニ賛成スルモノデアリマス、以上ヲ以テ終リマス

○庄司委員長 木村チヨ君

○木村(チ)委員 大體私ガ申上ゲヨウト思ツテ居リマシタコトハ、各議員カラ細目ニ亙ツテ申サレマシタノデ、私カラ申上ゲルコトハ避ケテ賛成スルモノデアリマス、併シ只今各議員ノ申サレマシタヤウニ、民生委員ノ銓衡ニ付キマシテ少シ御願ヒシタイト思ツテ居リマス、民生委員ノ俸給ノ問題ガ出マシタガ、私モ現在民生委員デアリマスケレドモ、二百圓ノ月給ト申シマスカ、手當ト申シマスカ、サウ云フモノハ本當ニ私達自分ノ手デ使ハズニ、全部ソレヲ出シテシマフノデアリマス、餘計ニ戴ケバ戴クダケ民生委員其ノモノハ、自分ノ懐ロニ使フト云フコトモ全然オノデゴザイマスカラ、切上ガテ年ニ千圓位ノ手當ガシテ戴キタイト云フコトヲ思ツテ居リマス、ソレカラ民生委員ノ銓衡ニ付キマシテハ、婦人ヲ多數ニ選ンデ助ヲ受ケル方々ノ接觸ニ致シマシ

テモ、婦人ハ非常ニ和ヤカデ、サウシテ當リガ非常ニ好イト思フノデゴザイマス、今マデ私ノ所デ男子ノ方カラ——民生委員デナイ、前ニ方面委員ト云ツテ居リマシタ場合ニ、色々御尋ネガアリマシテモ、本當ニ受ケナケレバナラナイト云フ事情ノ方ガアリマシテモ男ノ方ガイラツシヤルト、見榮ト申シマスカ何ト申シマスカ、私ハソナモノハ受ケナクゾモ宜イト仰シヤイマスケレドモ、女ノ方ガ後ロニ廻ツテ御話ニナルト、非常ニ喜ンデ受ケラレルト云フ例ガアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、今度ノ民生委員ノ銓衡ニ對シマシテモ、婦人ヲ半數以上採用シテ戴クト云フコトニ骨ヲ折ツテ戴キタイト思ヒマス、之ヲ以テマシテ私ハ全面的ニ賛成致シマス

○庄司委員長 松谷天光君

○松谷委員 私ハ無所屬ト致シマシテ本法案ニ對スル意見ヲ申上ゲマス、本法案ハ新憲法第二十三條ヲ具現致シマス所ノ現在唯一ノ法律デアリ、又秩序紊レ道義ガ地ニ墜チテ現狀ニ於キマシテ、戦争ノ犠牲ニ依リ生キルコトニ喘イデ居リマスル者ニ取リマシテ、命ノ綱ト頼ツテ居ル法律デゴザイマス、本法案ガ一タビ實施サレマシテ十分ニ運営サレ、又其ノ運営ニ當リマシテ國家ハ責任ヲ以テ、一人ノ國民モ殺シハシナイゾト云フ其ノ温カイ親心ガ現ハサレマシタ時ニ

於テ、初メテ今マデ不安ノドン底ニ運命ヲ呪ツテ居リマシタ人々モ、明日ニ生キル喜ビヲ見出し希望ヲ見出し、一方又社會ニハ秩序ト道義ガ確立サレマシテ、「ボツダム」宣言ノ完全遂行ヲナシ得ル一動力ニナルト信ズルノデゴザイマス、此ノ大キナ意義ヲ持チマス重要ナ本案ニ於キマシテ、私ハ先ヅ本法ノ根本精神ヲ現ハシテ居リマス所ノ第一條ヲ、今少シ完全ラ期シタ條文ニ修正シテ戴キタイト云フコトヲ希望スルモノデアリマス、先程長谷川委員カラ續々御説明ガアリマシタト同ジヤウニ、此ノ條文中ニ「最低生活ノ保障」ト云フ字句ヲ是非挿入シテ戴キタイ、十數回ニ亙リマシタ討議ニ依キマシテ、厚生大臣ノ御答辯ニ依リマシテモ、精神ハ其ノ所ニアラハツキリト申サレテ居ラレノデゴザイマス、又昨日ノ葛西政府委員トノ懇談ノ中ニ於キマシテモ、精神ハ同ジク、意味ハ同ジコトヲ言ツテ居ルノダト云フ御言葉デアリマスカラ、同ジ意味デゴザイマスナラバドウカハツキリトソレヲ明示シテ戴キタイノデアリマス、第一條ニ「最低生活ノ保障」ト云フ字句ヲ挿入致サレマシテ、國家ハ其ノ責任ニ於テ一人ノ國民モ殺シハシナイゾト云フコトヲ、ドウカハツキリトシテ戴キタイ、今日生キルコトニ迷ツテ居リマ

ス——生キチ宜イノカ或ハ死ナナケレバナラナイノカ、生死ノ岐路ニ迷ツテ居リマス國民、而モ戦争ノ犠牲ニ依ツテ其ノ迷路ニ追ヒ込マレテ居リマス國民ニ、ドウカ生キル喜ビヲ與ヘテ戴キタイ、其ノ爲ニハ此ノ第一條ノ修正ヲ心カラ念ズルモノデアリマス、尙ホ先程委員長ガ御讀上ゲニナリマシタ附帶決議ニ付キマシテハ、ドウカ是ノ運営上ニ當リマシテ、此ノ附帶決議ヲ十二分ニ御活用戴キタイト念ズルモノデアリマス、尙ホ今日八月十五日、此ノ歴史のナル日、昨年ノ今日私共ハ玉音ヲ聽イテ泣キ伏シタモノデアリマス、此ノ意義アル日ニ於キマシテ、此ノ意義アル生活保護法案ガ、只今委員會ニ依ツテ決議サレヨウトシテ居ルノデゴザイマス、私共ハ昨年ノ此ノ日ヲ再ビ想ヒ起シマシテ、昨年敗レタコトニ泣イタ私共ハ、今此ノ最低生活ノ保障シヨウトスル——迷ツテ居ル國民ヲ救ヒ上ガ、七千萬同胞ガ俱ニ手ヲガツチリト組ミ合ヒナガラ、再ビ再起ニ燃エントシテ居ル今日ニ於キマシテ、意義アル此ノ日十二分ニ私共此ノ詮議ニ當リマシタ者ハ、今一度胸ニ手ヲ置キ、尙ホ此ノ法案ガヨリ善ク活用サレルヤウニ御配慮願ヒタイト云フコトヲ望ミマシテ、私ノ意見ヲ終リマス

○庄司委員長 討論ハ是ニテ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマ

ス、先ヅ社會黨長谷川委員ノ御提出ノ修正案、即チ本法第一條ニ「平等ニ保護して」ノ次ニ「その最低生活を保障して」トノ文字ヲ挿入スルノ修正動議ニ付キ只今無所屬松谷委員ノ御賛成ガゴザイマシタ、即チ茲ニ合法的ニ修正動議ガ成立ヲ致シタノデアリマス、此ノ際此ノ第一條ノ修正動議ニ付キ、修正ヲ望マル、所ノ社會黨並ニ無所屬ノ「最低生活を保障し」云々ノ文字ヲ挿入スル方ニ賛成ノ諸君ノ御起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○庄司委員長 起立少數、仍テ此ノ修正動議ハ否決セラレマシタ——次ニ原案第一條ニ付キ賛成ノ諸君ノ御起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○庄司委員長 起立大多數、仍テ原案通り可決致シマシタ——是ヨリ第二條以下第四十七條マデ一括繼續議題ト致シマシテ、第二條以下第四十七條マデ原案其ノ儘御賛成ノ各位ノ御起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○庄司委員長 起立總員、第二條以下第四十七條マデ原案其ノ儘可決確定セラレマシタ

本院ヨリ付託サレマシタル本法ノ委員會ハ、茲ニ十有三回ノ委回會並ニ懇談會ヲ開會致シマシテ、本日此ノ記念スベキ「ボツダム」宣言受諾ト共ニ、今上陛下ノ終戦ニ關スル御詔勅ヲ賜

ハリマシタル満一箇年ノ記念日ニ當リ、生活保護法ガ茲ニ第一條ヨリ第四十七條ニ至ルマデ原案絶對多數、第二條以下滿場一致ヲ以テ御審議ヲ戴キ原案通り可決致シマシタコトハ、洵ニ將來ニ記念スベキコトデアルト思フノデアリマス、將來何人カ、平和日本ノ社會事業史ヲ編纂スル人アルナラバ此ノ委員會ノ熱烈ナル委員各位、竝ニ本日此ノ原案ニ賛成ヲ戴イタ委員各位ヨリ、社會事業史ノ何頁カヲ飾リ得ル所ノ記念スベキ、此ノ法案ニ對スル御審議ヲ戴キマシテ、不肖愚鈍ニシテ淺學短才、御覽ノ通りノ者デゴザイマスルガ、幸ニモ理事各位及ビ各派ノ總代各位、全員各位ノ御指導御鞭撻ノ下ニ、茲ニ恙ナク本委員會ノ終局ヲ告グルコトガ出來得マシタルコトハ、洵ニ感謝ト感激ニ堪ヘザル所デゴザイマス、茲ニ本委員會ノ終局ヲ結ブニ當リ、厚ク各位ノ深厚ナル御理解ト御支授トヲ感謝スルト共ニ、此ノ後本法施行ノ場合ニ於テ、各々御縁ガアツテ本法ノ委員ノ職ヲ御務メ下サイマシタ各位ニ於カレマシテハ、各都道府縣、選舉區其ノ他ニ於テ、本法ノ施行上十二分ニ萬全ヲ期サセルコトガ出來得ルヤウナ監視監督ト共ニ、御指導御誘掖ヲ賜ハルヤウナコトガアルナラバ、錦上更ニ

花ヲ添フル所以デアルト考ヘルノデアリマス、洵ニ足ラザル私、茲ニ十有三回ノ委員會ノ閉會ヲ宣スルニ當リ、改メテ厚ク各位ノ御同情ヲ感謝致シマス、之ヲ以テ散會致シマス(拍手)
午前十一時二十九分散會

昭和二十一年九月十二日印刷

昭和二十一年九月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局